

非浸潤性乳がんに対する局所療法

手術治療の第一目標は的確な局所コントロールであり、切除断端陰性の達成が望ましい。術前検査で診断した病変の範囲に応じて部分切除ないし乳房切除を選択する。切除断端やセンチネルリンパ節に対する術中病理検査の位置づけはまだ確定しておらず、施設の状況による。

永久病理標本による詳細な検討の結果、断端陽性であれば追加切除を考慮するが、癌の生物学的、病理学的特性も考慮して治療方針を決定することになる。